

廃プラスチックのケミカルリサイクル「EUP[®]」

Chemical Recycling of Waste Plastic EUP[®]

プラスチックのライフサイクルの現在

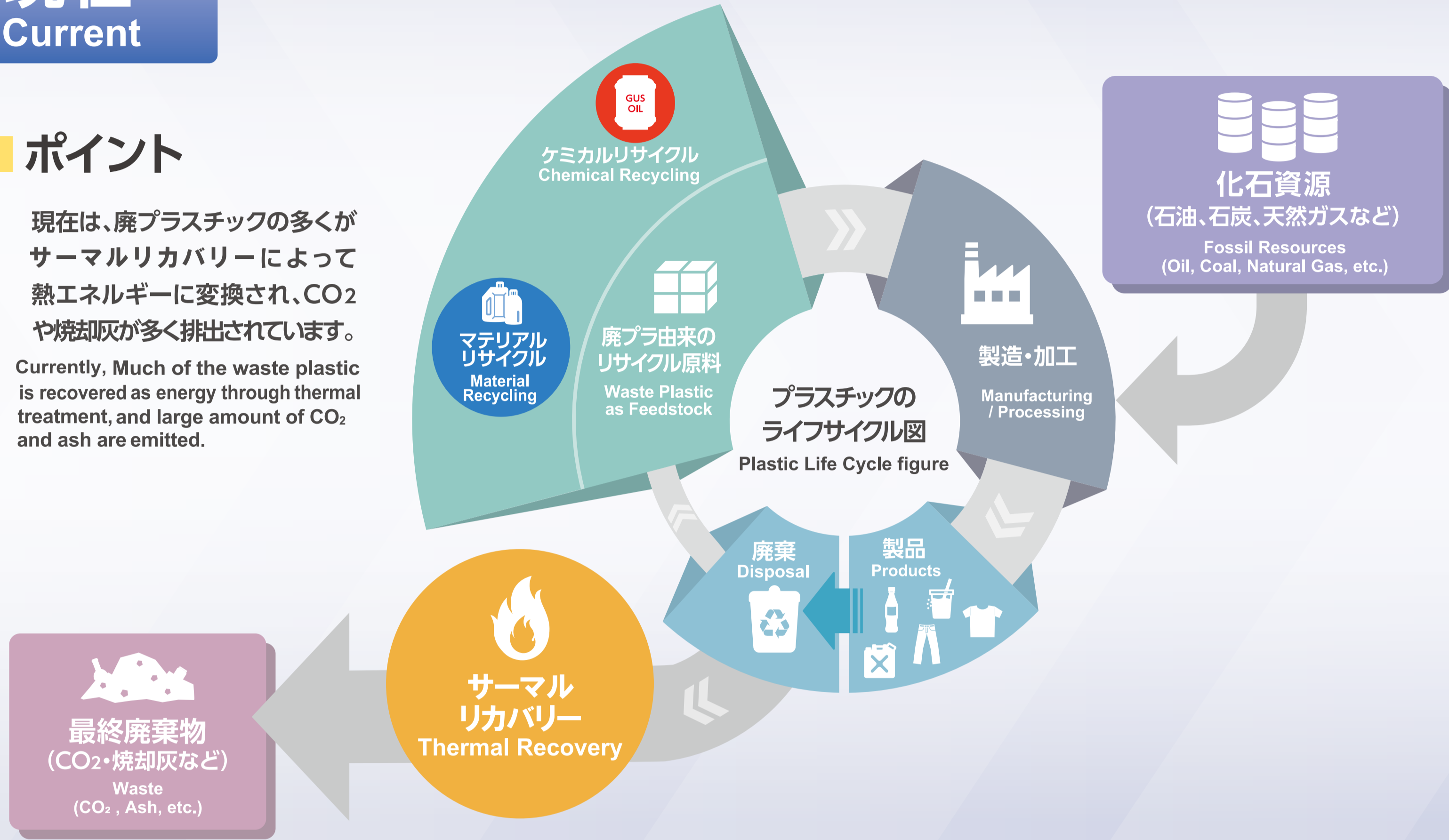
Current : Life cycle of plastic

現在

Current

ポイント

現在は、廃プラスチックの多くがサーマルリカバリーによって熱エネルギーに変換され、CO₂や焼却灰が多く排出されています。
Currently, Much of the waste plastic is recovered as energy through thermal treatment, and large amount of CO₂ and ash are emitted.

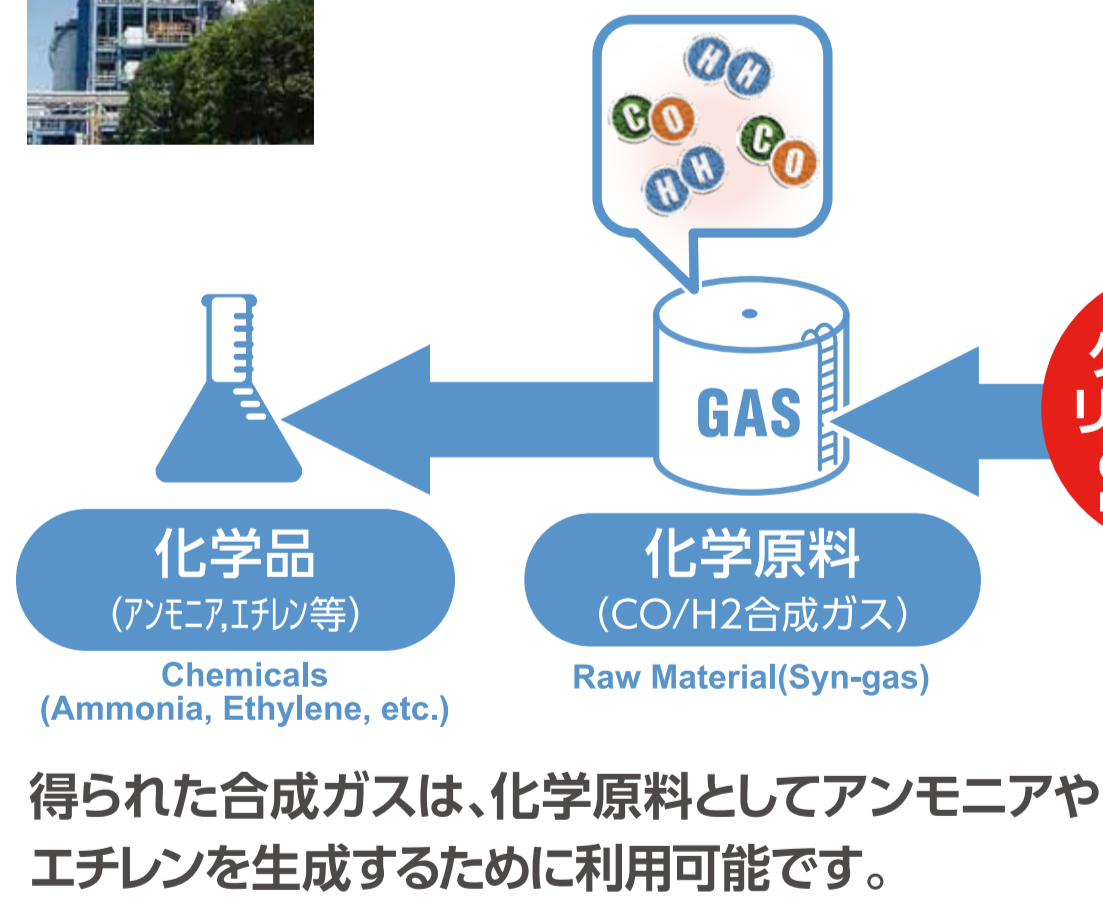


荏原のケミカルリサイクル技術①

EBARA's Technology for Chemical Recycling

社会実装されて活躍している技術 「EUP[®]」

導入事例
 施設名: (株)レゾナックKPR
 形式: EUP
 所在地: 神奈川県川崎市
 再商品化能力: 64,000[ton/年]



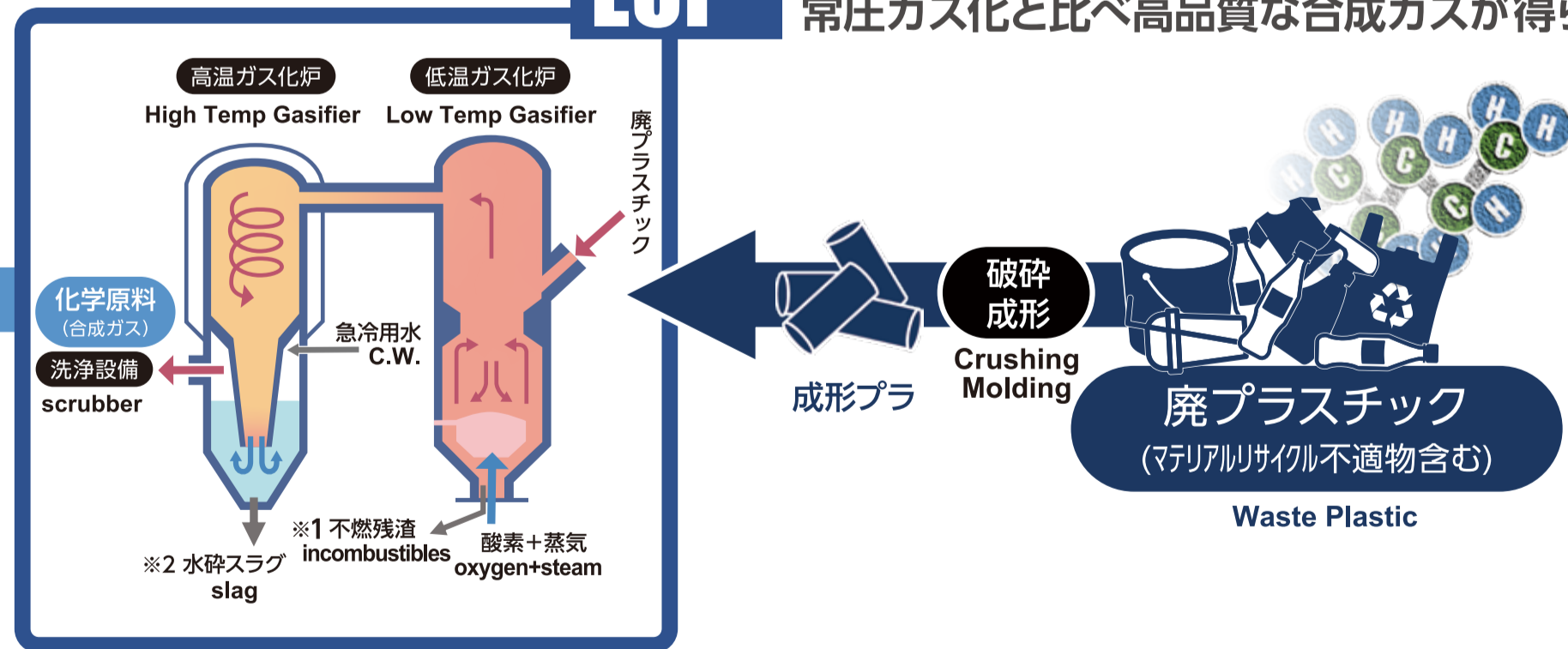
得られた合成ガスは、化学原料としてアンモニアやエチレンを生成するために利用可能です。

ガス化技術を用いた廃プラスチックの再資源化

Recycling of Waste Plastic by Gasification Technology

High Quality Syn-gas produced through Pyrolysis by Pressurized Twin Interchanging Fluidized-bed Gasification System

EUP[®] 加圧二段ガス化システムは、加圧した2つの炉を通じて熱分解反応を促進させることを特徴とし、常圧ガス化と比べ高品質な合成ガスが得られます。



※1. 廃プラスチックに含まれる不燃残渣のうち、金属類は未酸化状態で回収・リサイクル可能です。
 ※2. 灰分は高温ガス化炉で溶融され、スラグとして路盤材等で利用可能です。